

# 我孫子市横断歩道橋長寿命化修繕計画 (個別施設計画)



令和 7 年 3 月  
我孫子市 建設部 道路課



## 目 次

1.	背景.....	1
2.	対象施設.....	2
3.	個別施設の状態等.....	2
4.	対策内容と実施期間.....	3
5.	集約・撤去に関する検討.....	4
6.	費用縮減に関する検討.....	4
7.	対策費用.....	4

# 1. 背景

---

## 長寿命化修繕計画策定の背景

---

老朽化対策に関する政府全体の取組として、平成 25 年 6 月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」がとりまとめられました。

今後、基本計画に基づき、国、自治体レベルで行動計画の策定を進めることで、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現することとされています。

我孫子市では、平成 28 年 6 月（令和 4 年 3 月改訂）に「我孫子市公共施設等総合管理計画」を改訂した。これが、「行動計画」として位置づけられている。今回「個別施設計画」に該当する「横断歩道橋梁長寿命化修繕計画」を策定するものです。

---

## 長寿命化修繕計画策定の目的

---

横断歩道橋長寿命化修繕計画は、今後老朽化する横断歩道橋に対応するため、地方公共団体自ら計画を策定することにより、従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへの転換を図るとともに、横断歩道橋の長寿命化並びに横断歩道橋の修繕及び架け替えにかかる費用の縮減を図ることを目的としています。

---

## 点検およびパトロール

---

橋梁については、市民生活に直結する重要なインフラであることから、その状態を健全に保つため、5 年に 1 回の頻度で予防保全型の点検・診断等を行います。

加えて、日々の管理については、定期的なパトロールを実施し、安全確保に努めていきます。

---

## 2. 対象施設

横断歩道橋長寿命化修繕計画の対象となる横断歩道橋は、車道を横断する歩行者等を、車道から立体的に分離することにより、横断者の安全を確保することを目的とする施設であり、我孫子市が管理する横断歩道橋は1橋となります。

対象横断歩道橋一覧

No.	橋梁名	路線名称	橋長 (m)
1	つくし野歩道橋	04-010	76.20

## 3. 個別施設の状態等

橋梁定期点検要領に準じた橋梁点検を令和4年度に実施し、健全性Ⅱといった結果が出ており、概ね健全な状態にあると判断いたしました。

健全性の評価につきましては、5年に1度の頻度で実施している橋梁点検の結果を用いています。橋梁点検の結果は、4段階評価となっており、この評価基準は国が定めたもので、日本全国共通の評価基準となります。

判定区分の表

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

この判定区分結果を指標として、適宜機能保全を行います。将来的な利用形態や重要度、ライフサイクルコストの検討、ほかの事業との関係性など様々な条件を検討するため、実施までに期間を要する場合があります。

#### 4. 対策内容と実施期間

個別施設計画では、次回の点検・診断や修繕、さらには、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を整理する必要があるため、今後10年間の修繕計画を立案しました。定期点検及び修繕の実施にあたっては、従来工法と新技術等を含めた比較検討を実施し、積極的に新技術の活用を検討していきます。また、集約・撤去につきまして、本市では、集約・撤去が必要な横断歩道橋はありません。

○：補修設計 △：定期点検 ■：補修工事 ※長寿命化計画見直し年

No.	橋梁コード	名称	路線名	橋長(m)	幅員(m)	架設年	供用年数	橋梁の種類	所在地	最新点検年度	次回点検年度	判定区分	対策の内容・時期								対策内容 (代表工種)	概算工事費 (千円)	新技術 の活用		
													2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032				2033	2034
													R7	R8	R9	R10	R11※	R12	R13	R14				R15	R16※
1	0012	つくし野歩道橋	04-010号線	76.20	3.50	1977	47	銅	我孫子4丁目	R4	R9	II			△	○		■	■	△■			塗替塗装工、コンクリート補修工	73,161	有
																							73,161		

## 5. 集約・撤去に関する検討

対象となる歩道橋（つくし野歩道橋）は、国道を横断する歩行者の安全確保のために必要不可欠な歩道橋であり、利用者も多く、近隣の小学校の通学路にも指定されていることから、今後 10 年間の計画期間内での集約・撤去は極めて困難と判断しました。

将来的に利用形態や重要度に変化があった場合には、改めて検討します。

## 6. 費用縮減に関する検討

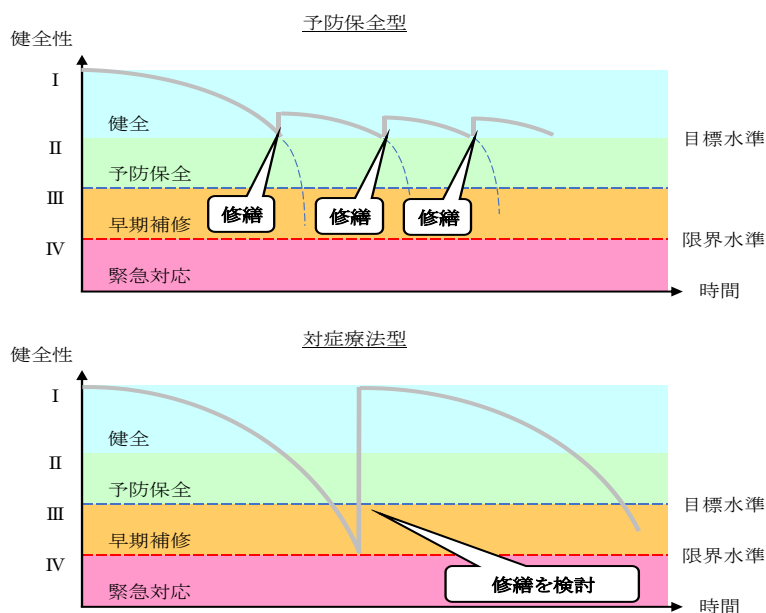
現段階で新技術が適用可能と考えられる工法を検討し、短期的な新技術の導入による目標（効果）を以下に示します。我孫子市では、下表に示す内容を目標として、新技術の導入に取り組みます。

項目	内容・目標
新技術の活用に関する考え方	従来技術と比較して、安全性、品質が向上する新技術を活用し、費用の縮減を目指す。
短期的な数値目標およびコスト縮減効果	令和 12～14 年の補修工事で、新技術を活用し、従来点検と比較して 960 万円、約 13%の費用縮減を目指す。

## 7. 対策費用

本市では、総事業費の算出にあたり、従来までの管理方法とされる対症療法型と計画的に補修など対策を行う予防保全型の維持管理方針を設定し、事業費のシミュレーションを行いました。

この結果、予防保全型の橋梁維持管理が経済的であると判断いたしました。また、市の財政状況を鑑み計画的に事業継続できるように、予算の平準化を行いました。





**我孫子市横断歩道橋  
長寿命化修繕計画  
(個別施設計画)**

令和 6 年 3 月策定

令和 7 年 3 月改訂

我孫子市役所 建設部 道路課